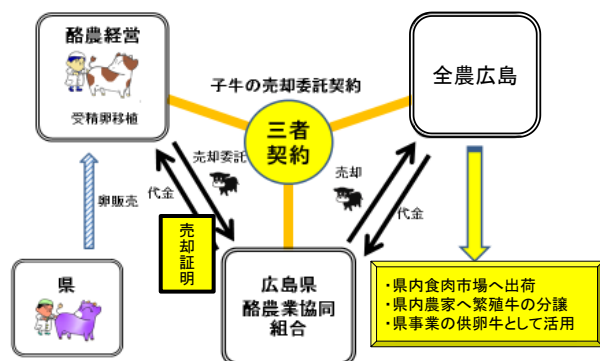


行政支援事業

酪農家が生産する和牛子牛（広島和牛経営発展促進事業）



母牛(乳用牛)と受精卵移植産子(和牛子牛)
ET子牛供給協定【取組事例】



【活用した制度】**行**
【支援したセンター】畜産技術センター

事業の課題

比婆牛をはじめとした広島和牛の生産体制を確保するために、受精卵移植を活用して乳用牛からの和牛生産を推進しています。また、和牛子牛の相対取引に関する契約（供給協定）締結を推進して県内保留に取り組んでいます。

支援の内容

畜産技術センターが保有する経膈採卵-体外受精技術による和牛体外受精卵の生産・供給を行っており、令和4年度は1372個生産し、1183個を農家へ供給しました。また、畜産技術センターが開発したガラス化卵融解器具（ビトラン-7）による凍結体外受精卵の供給も普及しつつあります。

支援の成果

令和4年度は、畜産技術センターが供給する受精卵を中心に、和牛体外受精卵移植が1003頭に実施されました。また、令和3年度は供給協定によって112頭の和牛子牛が県内農家に保留されました。

全国で活躍する種雄牛「花勝美」 （家畜人工授精事業）



花勝美(上)と花勝百合(下)

【活用した制度】 行

【支援したセンター】 畜産技術センター

事業の概要

実需者のニーズに対応した、広島血統和牛を安定的に消費者に提供するため、子牛生産に必要な県有種雄牛の造成及び凍結精液の製造・供給を行います。

支援の内容

種雄牛候補自身の発育成績や産子の枝肉成績を評価する産肉能力検定を実施しています。また、検定成績と血統情報から、肉生産に関する遺伝的能力を数値化した「育種価」を算出しています。

育種価の優秀な種雄牛を基幹種雄牛として選抜し、凍結精液を広く生産者に供給し、広島血統和牛生産に活用します。

支援の成果

令和2年、全国レベルの能力を備えた全きょうだいの種雄牛「花勝美」と「花勝百合」を選抜しました。「花勝美」は、（一社）家畜改良事業団の希望により共同で全国に精液を流通させ、広島血統和牛の知名度向上に寄与しています。また、「花勝百合」も県の基幹種雄牛として活用が広まっており、広島血統和牛の増産に貢献しています。

広島和牛ブランド「比婆牛」 （広島和牛ブランド構築事業）



「比婆牛」の枝肉（ロースの断面）



「比婆牛」のローストビーフ

【活用した制度】 行

【支援したセンター】 畜産技術センター

事業の課題

「比婆牛」がひろしまブランドに貢献する食の代表のひとつとなるよう、取り扱い店舗の拡大や認知向上のためのPRによりブランド化を進めています。畜産技術センターは「比婆牛」の価値を高める味の特徴の科学的根拠を得るため、牛肉の成分の特徴と食味との関係解明に取り組んでいます。

支援の内容

令和4年度は、「比婆牛」と他県産和牛肉の牛肉中成分の比較調査や、食品工業技術センターの味覚センサーを活用した分析等を実施し、「比婆牛」の牛肉中成分や味の特長を明らかにしました。

支援の成果

分析で明らかになった味の特長を、「比婆牛」の魅力のひとつとして、飲食店等で配布する「比婆牛ブランドブック」に掲載し、PRに活用しています。